

2021年12月10日
株式会社九州リースサービス
代表取締役社長 磯山 誠二

～NCB九州活性化2号ファンド～ 「株式会社旭製作所」への投資実行について

株式会社九州リースサービス（代表取締役社長 磯山 誠二、以下「当社」）は、株式会社西日本シティ銀行、株式会社日本政策投資銀行と共同で組成する NCB 九州活性化 2 号ファンド（以下、「本ファンド」）において、株式会社旭製作所（以下、「対象会社」）への投資を実行しましたので、お知らせいたします。

当社は、中期経営計画「共創 2024～Challenge for the Future～」において、「地方創造への貢献」を重点戦略のひとつとして掲げ、推進しております。本ファンドを通じて、付加価値の高い金融サービスを提供することで、地域経済活性化を支援するとともに、地域に根ざした総合金融サービス企業として、お客様と共に発展・成長することを目指してまいります。

1. 対象会社および本件投資の概要

会社名	株式会社旭製作所
所在地	熊本県荒尾市高浜 1978
代表者	池田 靖之
創業	1950年4月
事業内容	精密機械器具製造業、医薬・理化学用ガラス製品の製造販売
投資形態	優先株式（第三者割当増資引受）
金額	300百万円
資金使途	自動化・DXに対応したガラス製反応装置の研究開発及び関連設備投資等にかかる成長資金

2. 投資理由

①高い競争力を持つグローバルニッチトップ企業

対象会社は、製薬、化学、半導体業界等に対して耐蝕性に優れたガラス製品を、単品の器具からプラントスケールまで及ぶ幅広いラインナップで取り揃え、かつ、設計・製作からアフターサービスまで一貫して対応できる国内唯一の企業であり、対象会社グループ全体で世界シェア第2位（売上高ベース）に位置しています。

②長期的な成長可能性

同業界と比較して経営陣及び従業員の年齢が若く（平均年齢 39 歳）、技術継承も進んでおり、中長期的な競争力を維持し、成長することが期待されます。

③地域経済の活性化

対象会社へ成長資金を供給し、財務基盤の強化を行うことにより、地域経済の活性化及び雇用の創出に繋がることを期待されます。

以上

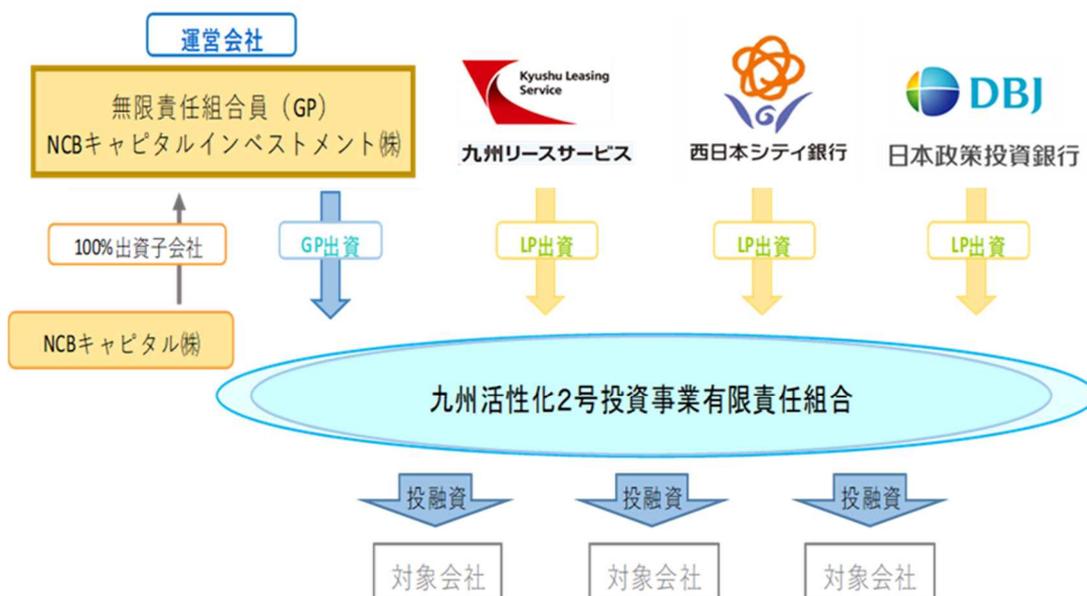
【参考】NCB 九州活性化 2 号ファンドについて

本ファンドは、当社、株式会社西日本シティ銀行、株式会社日本政策投資銀行の共同出資により、2019 年 9 月 20 日に設立されました。

地域経済の活性化のためには、今後の成長に向かう確かな事業を有する地場企業を地域経済の中核を担う企業へと育成することが重要となっています。

本ファンドは、このような九州地域の地場企業に対し、事業基盤の改善・強化及び事業承継を支援するため、エクイティやメザニンファイナンス等のリスクマネーの供給を含む多様な金融サービスを提供することで、一層の支援を行うことを目的に設立されたファンドです。

(ファンドスキーム図)



本件に関するお問い合わせ
株式会社九州リースサービス 営業開発部 松本
TEL:092-431-2697